

山崎さんは、2005年に豊橋東高校卒業後、トリード大学に入学。国際関係学部で4年、大学院で2年間ESL(English as a Second Language)関連の研究に携わる。

修士課程中、アシスタントして日本語クラスの講師に迎えらるるなど活動の幅を広げ、大学院卒業後の現在は、再び同大学の教育学部に進学、多種多様な文化が入りまじる都市トリードで、博士号取得を目指して日々頑張っている。

オハイオ州立トリード大学
教育学部カリキュラム&インストラクション学科 博士課程
外国語学部日本語学科 講師

山崎 華純さん



【突然夏!?ちょっと違うトリードの四季】

トリードは日本の東北から北海道の緯度にあります。でも日本とはちょっと違います。春がありません。春がないというより、日本のようなはっきりした四季がありません。5月上旬まで上着が手放せなかったのに、6月になれば半袖、Tシャツ。一気に夏がやって来ます。おかげでクリーニング屋さんは大盛況です。トリードの夏は、唐突な気候の変化から始まります。

6月に入りサマータイム以降、日が長くなりました。太陽が夜の10時頃まで沈まず、明るい日々が続いています。この時期、住宅街では家々の郵便ポストに風船が3、4個つ



風船は卒業パーティーの目印

ないであるのを見かけます。風船には『卒業パーティー』の文字が書いてあります。実は5、6月は学校の卒業式ラッシュ。それから9月まで3~4か月の長い夏休みが始まります。風船を自宅前につけるといふ風習は、招待したゲストへのパーティー会場の目印のほか、周囲に「今日は少し騒がしくても大目に見て下さい」というメッセージが隠されています。

【卒業式でわかるアメリカの評価の仕組み】

私がトリード大学に留学して6年が経ち、この5月に大学院修士課程を卒業しました。今回は、私が戸惑ったアメリカの『評価の仕組み』についてお話しします。

それは5月8日に行われたトリード大学の卒業式です。



首から下げるロープは成績優秀者の証『コーズ』

卒業生は黒い卒業ガウンを着て、各学部ごとに異なるタッソルと呼ぶ飾りを帽子から吊るします。学生の中には何人か色の違ったロープのようなものを首から下げています。これは、学士号取得の学生たちが四年間培ってきたことに対し、学校側が評価し贈ったもので、これを『コーズ』といいます。成績レベル順に3色に色分けされていて、成績優秀者のみが首から垂らすことができます。

式典は、巨大なバスケットボール競技場で行われます。卒業生は何千人もいますが、一人ずつ名前が呼ばれ、

階段から壇上に至るまで敷き詰められたじゅうたんの上を胸を張って歩きます。名前が呼ばれるたびに、家族や友達らが名前を呼んだり、拍手をしたり、時にはラッパを吹いたり、まるでお祭り騒ぎ。卒業生もこれに応じて、壇上から投げキッスをします。

また、教師が学生を評価し、成績をつけるのは当たり前ですが、4か月間の講義の最終日には、学生が教師を評価します。いわゆる『先生の通信簿』タイムです。生徒が、約20項目のチェックシートで、教授や講師の指導法について5段階で評価します。学生は先生を脅かさない、先生も学生の成績を付け終わるまでは決して開封しない、それが暗黙の約束事。学生はのびのび担当教授の通信簿をつけます。

卒業式や教官通信簿のようにダイレクトに評価し合い、成果を認め合う、この評価の仕組みは教育だけに限ったことだけではありません。時にはシビアで、日本のようにオブラートに包まない言い方や手法に傷つくこともあります。逆にさっぱりしたり、共感を覚えたりするようになりました。今では正直にそう思います。



学期末パーティーで教え子たち

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL.(0532) 56-0766(代) FAX.(0532) 56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

文具通販最大手 ASKUL

新流通最多28,000アイテム Smartoffice

学校、保育園市場No.1の新流通 スマートスクール

新流通三河No.1取扱高の

株式会社 豊橋タイプ

豊橋市松葉町2の5
TEL (0532) 53-5111(代)
FAX (0532) 53-6783
URL <http://www.t-type.co.jp>